



2022年8月12日

各 位

会社名 ウェルビー株式会社
代表者名 代表取締役社長 大田 誠
(コード番号 6556 東証プライム市場)
問合せ先 取締役副社長兼管理本部長 千賀 貴生
(Tel. 03-6268-9542)

棚卸資産評価損（売上原価）の計上並びに 連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年3月期第1四半期決算におきまして、棚卸資産評価損を売上原価に計上することを決議し、また、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期の連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することいたしますので、お知らせいたします。

記

1. 棚卸資産評価損（売上原価）の計上について

本日開催の取締役会において、市場環境及び動向等を踏まえてヘルスケア事業の今後の販売計画を精査した結果、販売が見込まれない5-A-L-A商品等（原材料及び貯蔵品ならびに前渡金を含む。）については、棚卸資産評価損として19億61百万円を売上原価に計上することを決議いたしました。

当社子会社が販売する5-A-L-A商品等について、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、需要が見込まれたため、商品等を積み増してまいりました。しかしながら、2022年4月以降の感染者数の減少に伴い、2022年4月以降の销售量も減少しつつありました。そこで、2022年4月から直近までの販売実績をもとに今後の販売計画を慎重に見直した結果、長期的に販売が見込まれない商品等について、帳簿価額を処分見込価額まで切り下げる方法により会計処理を行うこといたしました。

売上原価に計上する棚卸資産評価損19億61百万円の内訳は、商品が7億40百万円、原材料及び貯蔵品は、2億12百万円、前渡金は、10億7百万円です。

なお、棚卸資産評価損を売上原価に計上したことにより、流動資産に計上している商品、原材料及び貯蔵品ならびに前渡金が減少することで、連結総資産の額が減少いたします。

上記の内容につきましては、本日発表の「2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

2. 連結業績予想の修正

(1) 2023年3月期 第2四半期（累計）連結業績予想の修正（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期四半期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	5,451	1,142	1,169	786	27.32
今回修正予想（B）	5,477	△816	△792	△1,180	△41.02
増減額（B－A）	25	△1,959	△1,962	△1,967	
増減率	0.5%	－	－	－	
（ご参考）前期実績 （2022年3月期 第2四半期）	4,688	1,202	1,245	866	30.31

(2) 2023年3月期通期連結業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	11,486	2,529	2,586	1,856	64.50
今回修正予想（B）	11,167	495	530	△171	△5.94
増減額（B－A）	△319	△2,033	△2,055	△2,027	
増減率	△2.8%	△80.4%	△79.5%	－	
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	9,894	2,527	2,659	1,828	63.74

(3) 修正の理由

2023年3月期の連結業績予想につきましては、障害福祉事業においては、順調に推移しておりますが、ヘルスケア事業において、上記「1. 棚卸資産評価損（売上原価）の計上について」に記載のとおり、棚卸資産評価損として19億61百万円を売上原価に計上したことから、2022年5月13日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたします。

3. 配当予想の修正

(1) 2023年3月期配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 （2022年5月13日）	8.10	8.10	16.20
今回修正予想	0.00	0.00	0.00
前期実績 （2022年3月期）	8.00	8.10	16.10

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要な課題と位置づけ、連結配当性向 25%を目処に上期実績及び下期実績に応じてそれぞれ中間配当を及び期末配当を実施しております。

今回の通期連結業績予想の修正に伴い、親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見込みとなりましたことから、誠に遺憾ではございますが、2022 年 3 月期の中間配当及び期末配当は無配とさせていただきますことといたしました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、業績回復に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の業績は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上